

えもと

行動する
はつらつたる
商工会議所

No. 87



かんちゃん

青函トンネル開通記念博覧会

青函博



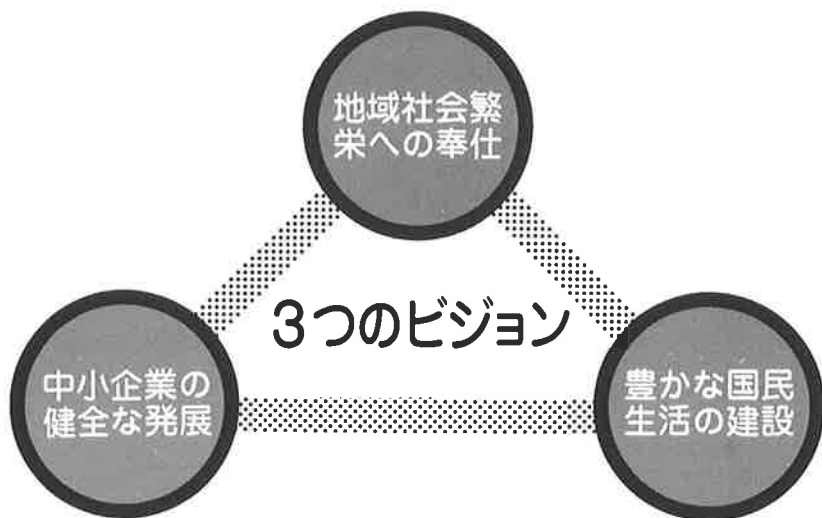
函館EXPO'88

- 会期/昭和63年7月9日⇒9月18日
- 会場/函館市弁天町地区

■ 函館商工会議所報 ■

1988

6月号



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本 店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんたい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコーター	10
Q & A	12
青函博コーナー	14
ご 案 内	22



青函博 函館EXPO'88 特集

(P14~P21)

※今月号は「特別寄稿」「ティータイム」を休ませていただきます。

● 視 点

気温が二十度をこす日もふえ、街の中の緑も一層その濃さを増し、一年中で最も日の長い初夏の候を迎えました。

函館の景気は、昨年夏の観光客の増大とともに急速に回復し、現在では拡大する傾向にあります。

このことは、七月九日開会となる青函トンネル開通記念博覧会の成功に向けて、各方面のご理解とご協力を戴きながら、市をあげて努力を積み重ねてきたことが大きく関係しており、また、ここ数年来大幅な観光客の増加をみたのは、安政六年横浜、長崎とともに海外に門戸を開いて以来の、多くの歴史的遺産が函館には多く残されているほか、そのかもし出す異国情緒を十分に活かしているまちづくりの良さが、認められたことに外ならないと考えます。そして何よりも大切なのは、住民自らが努力を重ねてきたという点であり、この住民自らの努力が、外部の協力、協賛を呼びよせる大きな力になっていると思います。

愈々来月九日は青函博開幕の日です。残りの日数は二十日を切りました。関係者は文字どおり不眠不休で、より良い博覧会の開催に向けて最後の努力を重ねています。観光立市が大きな柱の一つである函館のために、もう一度市民の立場で、この博覧会に対して何をやるかを考え、そしてそれを実行しようではありませんか。例えばそれが道においている空缶一つを片けることでも、草一本とることでも市民全体では大きな量となりますし、その心は明日の函館を築く為の大きな支えとなるからです。

会 議 所 の 動 き



62年度収支決算
一億五千六百万円承認

第6回通常
議員総会

本商工会議所第六回通常議員総会は去る六月十七日日本所で開かれ、昭和六十二年度事業報告並びに収支決算報告等の上提案件を夫々審議し、いずれも原案どおり承認されました。

議事に先立ち、春の叙勲で辻才次郎前会頭が勲四等瑞宝章を受章された旨慶事を報告した後、川田会頭からわが国経済は、国内需要の本格的な拡大を基調に順調な成長路線を進み、当函館地域においても、公共事業の拡大や内需の振興により総じて景気は上向いた。特に、JR青函連絡船廃止を前提とした連絡船フィーバーにより、夏頃より急激な観光客の増加が見られ、これが去る三月十三日のトンネル開通と連動し地域経済向上の大きな推進力となった。

一方この景気上昇を受けて建設関係を始め民間投資も積極的に行われ、この七月開催の青函博の成

功に向け、市民一体となって強力に諸施策を推進したその成果が見え始め、当市景況が停滞から回復、そして拡大と着実に転換した有意義な一年間であった。

本所としても、会員各位のご理解とご協力のもとに、行動する会議所として諸事業を推進し、この景況回復に貢献して、地域の総合経済団体としての果たした役割には大きいものがあつた。

また、本年は地域の課題として懸案の北海道縦貫自動車道（長万部～七飯町間八十九軒）を整備計画区間に昇格させるための調査が行われる予定であり、整備新幹線も愈々近く着工優先順位が決まるなど当地域にとって交通体系の整備促進に大きな意味のある年でもある旨の挨拶がありました。

次いで議事に入り、部会、委員会活動等を報告した後、提出の議案を審議し原案どおり承認決定さ

れましたが、概要は次のとおりです。

◎昭和六十二年度事業報告

本年度は青函博開催の諸準備推進の年で、会員各位のご協力のもとに関連事業を実施し、更に将来に向けた幾つかの事業を行い、本所としては実り多い年であったと報告されました。

◎昭和六十二年度収支決算報告

会員各位のご協力により、収入規模は、予算額二億四千三百四十二万七千円に対し、決算額は二億五千六百四十八万三千円となりました。

◎本所議員改選について

三号議員の選出承認について常議員会に付託されました。

◎本所議員改選特別委員会設置について

改選に備え特別委員会の設置については必要に応じ会頭に一任されました。

◎本所福祉共済事業規程(案)について

各種共済制度について一本化した規程が設けられました。

函館港の新たな活性化を 本所部会委員会開催

本所運輸港湾部会（近藤敏夫部会長）と地域開発委員会（大越勝己委員長）による合同会議が、六月六日午後二時から五島野駅支店で開催されました。

当市では、今年三月、八十年の歴史を刻んだ青函連絡船が廃止され、代わって青函トンネルが供用開始となり、運輸交通面での新時代を迎えましたが、これに伴い函館市では、従来連絡船を中心として機能していた函館港の新たな活性化を図るため「ポートルネッサ



ンス21構想（運輸省所管）」に基

づく再開発調査を実施し、港を新しい視点から見直すことを計画中であり、また、JR北海道では、青函トンネルが供用開始以来予想以上の輸送実績を上げており、これを更に増強すべく積極的に取り組んでいることから、経済界とし

道・新幹線建設総決起大会開催

八月末の政府・自民党による整備新幹線五線の建設着工優先順位

決定を前に、北海道新幹線建設促進道南地方期成会等が中心となつて、東北新幹線盛岡―青森間の着工と函館までの北海道新幹線の早期開業を訴える総決起大会が、去る六月十三日、函館国際ホテルに於て地元の渡島・松山の市町村、経済界、市民のほか、札幌や岩手青森等の県議会議長ら約千二百人余りが出席して、新幹線建設要求

でもこれらの現況を十分に認識することが必要であるということで、関連する部会・委員会の開催となつたものです。

当日は、JR北海道函館支社の青山繁樹支社長が「青函トンネル開通後の輸送実績と今後の取り組み」と題し、また、函館市港湾部の品川曜男部長が「函館港再開発調査について」と題し講話の後、講師を囲み活発な意見交換が行われました。

の気運を盛り上げました。

大会では、最初に北海道横路知事代理として我孫子副知事が主催者挨拶に立った後、地元の北海道新幹線建設促進道南地方期成会会長として本所川田会頭が、「政府では愈々、整備新幹線の着工優先順位を決めることにしているが、国土の均衡ある発展と青函トンネル有効活用の見地から、是非共、東北新幹線の早期着工と道新幹線早期実現を果たさなければなら



い。そのためには、地域の熱意の程を示す必要がある。」との本大会開催の主旨を述べ、また、地元選出国會議員らが相次いで実現のための決意表明を行いました。

その後、祝電披露と情勢報告があり、最後に木戸浦函館市長より、東北新幹線盛岡―青森間の即時着工と函館までの北海道新幹線の早期実現を求める決議案が読み上げられ全会一致で採択されました。なお今月二十一日には、この決議をもとに中央陳情を行い、地域住民の熱い願いを訴えることとしております。

ラッピング・酒販店 セミナーを開催



中小企業相談所では、小規模事業者のための経営改善普及事業の一貫として、各種の講習会を開催し、会員企業の啓蒙につとめております。今回本所で、五月二十四日に「ラッピングセミナー（包装技術実践講習会）」、六月十日には、「酒販店のための利益向上作戦」の二セミナーを開催しました。

「ラッピングセミナー」では、昨年好評だった同セミナーの講師のラッピングコーディネーターの平松三恵子先生を講師に、定員をこえる三十四名の受講者が、熱心に包装技術を勉強されました。個店のビン等を持ってきて包装の仕方を質問するなど、終始熱気あふれる講習会でした。目前に控えた青函博に来函する観光客に、一味ちがうオリジナル包装は、きつと函館の印象を一層良いものにしてくれることと思われず。

次に、「酒販店のための利益向上作戦」は、地元の小売酒販組合との共催で、本所会議室で開催しました。講師は、㈱エムエフアイ代表取締役の西山和宏氏で、スーパーマーケットの現場指導では二十年を超える経験を有し国産第一号POSラベリングマンシンの開発等の実践により、理論とともにその実践的現場指導には定評がある

先生です。渡米の機会も多く、流通業先進国である米国の最新情報にも精通しており、セミナーでも折々日米比較にふれておりました。講座内容は、進出激しいコンビニエンス・ストアの実態、アルコール飲料の需要変化の話にはじまり、最後に特に強調していたのは、適切な品揃えを行う簡単に決定的な方法として自分自身でデータを作ることだとし、そのデータの作り方を説明されました。講話の途中、酒販店のためのワンポイントアドバイスも豊富にあり、例えば、売れ筋商品は出口・レジの近くに置き、通路に物を置くと後の商品が隠れるとか、情報はカネで買わない情報で買え（情報の物々交換）等々、七十名の受講者はその話術に引きこまれていました。

本所では、冒頭にふれましたように、会員企業の要望に合わせた各種講習会を随時企画、開催いたしております。講習会に対しますご意見ご要望がありましたら、本所相談課にお寄せいただくとともに、今後の講習会への積極的参加を広くよびかけております。

安い掛金で大きな安心 函館商工会議所共済制度

ご加入のおすすめ

生命共済…従業員の福祉向上に
経営者年金…経営者の退職慰労金に
大型保障…経営幹部にワイドな保障を

退職金共済…従業員の退職金制度に
個人年金…老後の豊かなくらしに

◎お問合せ・お申込みは 函館商工会議所経理会員課 ☎23-1181



事務局日誌

5 月

***正副会頭会議**

14(土) 第53回正副会頭会議

***会議 (日商)**

19(木) 昭和63年度中小企業景況調査担当者会議

〃 小企業等経営改善資金融資制度に係る幹事商工会議所会議

***会議 (道商連)**

31(火) 第4回金融税制委員会・第4回中小企業委員会合同委員会

***ブロック会議**

27(金) 道南商工会議所連絡協議会

***審査会**

13(金) 小企業等経営改善資金の審査会

***諸会議**

2(月) 函館圏企業誘致推進協議会昭和63年度第1回幹事会

〃 所報「ともえ」No.86(5月号)編集会議

6(金) 地域振興フォーラム「明日の函館圏を考える」

9(月) 函館港利用促進協議会幹事会

〃 函館特産食品工業協同組合昭和63年度通常総会・懇親会

11(木) 函館圏企業誘致推進協議会昭和63年度総会

12(木) 渡島地方技能尊重運動推進協議会定時総会

〃 函館中国経済促進協会総会・懇親会

14(土) 議員会役員会

16(月) 函館港湾振興会昭和63年度総会・懇親会

〃 五稜郭商店街振興組合昭和63年度通常総会・懇親会

18(水) テクノポリス函館技術振興協会監査会

〃 函館機械金属造船工業協同組合連合会第12期通常総会

19(木) 北海道商工会連合会渡島支部昭和63年度通常総会

〃 函館信用金庫第65期通常総代会

〃 青函博中国物産展委員会

〃 婦人会役員会

20(金) 函館商工信用組合総代会・懇親会

〃 新都心五稜郭協議会総会

〃 函館郵政協会役員会・懇親会

〃 函館経営者協会幹事会

23(月) 函館市情報公開制度懇話会

24(火) 北海道新幹線建設促進道南地方期成会総会

〃 北海道縦貫自動車建設促進道南地方期成会総会

25(水) 昭和63年度第1回小規模企業振興委員連絡会議

26(木) 北海道経営者協会総会

28(土) テクノポリス函館技術振興協会理事会

30(月) 北海道新幹線建設促進期成会昭和63年度総会

〃 婦人会例会

***講習・催物**

12(木) 記帳講習会

13(金) 法律相談

〃 北東公庫出融資相談室

14(土)~ 道立函館美術館「橋本三郎展」

18(水) 発明相談

19(木) 記帳講習会

24(火) ラッピングセミナー

25(水) 経営相談

26(木) 記帳講習会

27(金) 法律相談

***刊行物**

20(金) 所報「ともえ」No.86(5月号)発行

***相談・診断**

金融 260 税務 51 経 理 25 経 営 149

労働 31 取引 1 その他 8 計 525

***貸 室**

本 館 28 別 館 3

***文 書**

受 信 267 発 信 11

***慶弔・その他**

1(日)~6(金) 中国物産展開設に関する訪中

12(木) 北海道電力泊原子力発電所見学会

13(金) 青森県副知事並びに青森青函博事務局
本所表敬訪問

16(月) 函館生命保険協会昼食懇話会

23(月) 北海道水産製造(株)創立40周年並びに住友芝浦ビル落成
記念祝賀会

〃 青函博シャトル船進水式

26(木) 第4回日中スーパー囲碁函館対局歓迎レセプション

Original Cakes

フレッシュな 洋菓子の店

カドツキ

函館市湯川町2-27-35 TEL57-7804

徐々に引き上げ。

(4) 建設関連

管内主要官公庁の新年度公共事業発注額は発注前倒しの前年に比べると下回っており（主要5官庁の発注額前年比△13.7%）、住宅着工も貸家の落ち込みを中心にこのところ高水準ながらも減少（4月中の市内新設住宅着工戸数前年比△42.6%）。もともと、ホテル、レジャー関連施設等民間建築工事（4月中の市内非住宅着工床面積前年比+98.5%）は引き続き活発。このため、建設筋では高水準の手持ち工事量を抱えてその消化に追われているほか、セメント・生コンの荷動きも引き続き好調。

(5) 農業

農作物は出芽、植付・移植の段階ながら、その成育はほぼ順調な模様。

(6) 漁業

近海マス漁は低調なまま終漁期を迎えているが、6月1日解禁となるマイカ漁は、魚群の北上が例年に比べ早いことから、前浜漁撈筋では前年同様の豊漁を期待。

(7) 消費関連

4月中の市内大型小売店（10か店）の売り上げは、好天に恵まれたうえ、一部百貨店の催事盛況もあって、初夏物衣料品や身回り品が好売れ行きを示したため、全体では前年比+7.7%の高い伸び。5月入り後も夏物衣料品を中心に順調な動きを示している模様。

一方、耐久消費財では、家電販売がAV商品、電子レンジ等を中心に好調を持続し

ているほか、自動車販売も一段と伸びを高めている（4月中管内新車販売台数前年比+13.7%〈前月+8.9%〉）。また、ゴールデンウィーク期間中の観光・レジャー面をみると、期間中終始好天に恵まれたことに加え、青函トンネルの開通に伴う道外観光客の大幅増から、ホテル、土産物店等の観光関連業界では活況裡に推移。

3. 金融事情（4月中）

○実質預金は、期末に積み上がった一般法人預金、金融機関預金の落ち込みに加え、マル優等非課税貯蓄制度の原則廃止（4/1日実施）に伴う個人預金の取り崩しの動きもあって、月中188億円減と前年（166億円）を上回る減少。一方、貸出は、建設、卸・小売、地公体等を中心に期末決済資金の返済が嵩み、月中173億円の減少となったが、減少幅は企業の運転・設備資金の増加から前年（205億円減）を下回った。この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、低利な期末決済資金等の返済進捗から月中+0.018%と上昇（前月△0.030%）。

○銀行券は、ゴールデンウィークに向けての行楽資金需要増を中心に前年（発行超1億円）を上回る月中7億円の発行超。

○財政収支は、租税、保険の受け入れが嵩んだものの、公共事業関係費等の支払増から、月中40億円の払超（前年同42億円）。

4 月

昭和63年 5 月26日

地域の

景気

—— 日本銀行函館支店 ——

1. 概 況

○最近の管内経済動向をみると、母船式北洋サケ・マス漁の規模縮小の影響が懸念されるものの、個人消費、設備投資を中心に需要が高水準を持続しているほか、企業の売り上げ、生産も増加をみるなど、管内景気は引き続き拡大傾向を辿っている。

○すなわち、製造業では極く一部の先がなお低操業を余儀なくされているものの、電子部品、乳加工品等が必要好調から増産姿勢を一段と強めているほか、合板機械、合板、水産加工等多くの先がフル操業ないし高操業を継続。さらに、非製造業では、個人住宅の伸び悩みにもかかわらず、土木・建築筋が、ホテル、レジャー関連施設を主とした高水準の受注残を擁しているほか、百貨店売り上げ、自動車・家電販売も高い伸びを示しており、観光関連でも青函トンネルブーム等を映じた入り込み客増加等から好調裡に推移。

この間、雇用情勢をみると、青函連絡船廃止に伴う求職者の増加等から、新規求人倍率は前月比低下。

○金融面をみると、預金は個人預金の取り崩しもあってやや低調であったが、貸出は企

業の増加運転・設備資金を中心に比較的順調。管内銀行の貸出約定平均金利は低利な期末決済資金の返済進捗から前月比小幅上昇。

2. 主要業種別動向

(1) 機 械

電子部品、合板機械では、受注が増加の一途にあり、引き続き能力増強投資、納期の長期化等により対応。また、製缶機械でも、高水準の受注残を抱え目一杯のフル生産を継続。造船でも、噴火湾地域の漁家向けアルミ船等小型船の受注は順調。

(2) 食 料 品

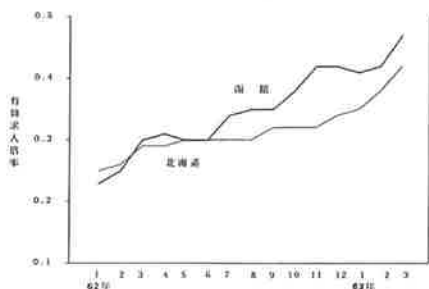
飼料・魚油では、主力飼料の出荷が鶏卵農家の経営不振等を映じて鈍化気味ながら、魚油の輸出成約は引き続き好調。一方、水産加工では、春の行楽需要が好調であったほか、夏場需要を見越して、大方の先が比較的高目の備蓄生産を実施。また、乳加工品でも需給引き締まりの練乳を中心に生産・出荷とも増加。

(3) その他製造業

合板では、安値インドネシア製品の流入増等から市況はなお軟調ながら、家具・家電等の根強い実需に支えられ、生産・出荷とも順調。また、段ボール、漁網でも、母船式北洋サケ・マス漁の縮小に伴う需要減が懸念されるものの、段ボールが青果物・水産加工食品向けを中心に順調な出荷を続けているほか、漁網もイカ刺網やイワシ旋網等の更新需要が堅調なため、生産水準を

%下回る 6,931人、月平均有効求人数(常用)は 2,575人と同38.6%増加しており、有効求人倍率は0.37倍で前年度より0.11ポイント上昇している。

図-2 雇用情勢



5. 金融情勢

函館管内金融機関(都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫)の63年3月末現在の預金残高は 8,531億 3,100万円(前年同月比 5.8%増)、これに対して貸出総残高は 6,001億 9,000万円(同 4.4%増)で預貸率は70.4%と前年同月に比べて 0.9ポイントの下降。預金のうち定期性預金は 6,398億 6,600万円(同 5.0%増)で、預金残高に占めるウエイトは75.0%と前年同月より 0.6ポイント下降している。また貸出金のうち設備資金は1,629億 8,200万円(同12.9%増)で、貸出金に占め

るウエイトは27.2%で前年同月より 2.1ポイント上昇している。

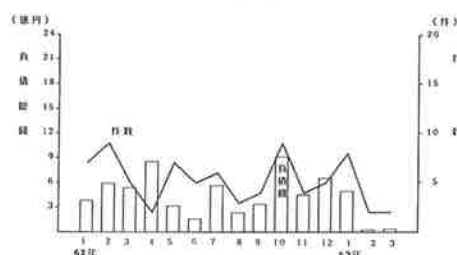
一方、年度間増加額は、預金が 649億 8,100万円で前年度より 170億 7,200万円の増加、貸出金が 460億 7,400万円で同 104億 3,200万円増加している。

6. 企業倒産

62年度の函館管内企業倒産(負債額 1,000万円以上)は57件で前年度より44件の減少、負債総額も50億 3,300万円で前年度より94億 8,200万円、65.3%減少と3年来、前年度実績を下回り落ちついている。

業種別では、製造業 7件、8億 2,000万円、建設業24件、14億 7,000万円、卸売業 8件、9億 2,000万円、小売業19件、5億 5,900万円、飲食業 6件、1億 500万円、その他14件、26億 6,400万円。

図-3 企業倒産



統計資料

第一種函館市内大規模小売店舗売上高(10店) 昭和63年4月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,179,398	91.0	111.3
身回品	580,214	90.7	121.8
雑貨	709,904	83.6	100.1
家庭用品	836,576	99.0	106.6
食料品	1,602,204	89.7	101.4
食堂・喫茶	180,127	84.8	103.4
サ・ビス	104,374	91.8	161.4
その他	494,989	94.8	100.7
総計	7,687,786	90.9	107.7

※10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和62年度

函館地域の
経済動向

昭和62年度函館地域経済動向は、公共工事の発注増による波及効果が、企業の生産、雇用面で好気配に表われ、史上最高の観光客の入り込みも加わり、ホテル・レジャー関連の大型建築、また金融緩和の中、個人住宅の大幅増と、総じて景気の回復、拡大方向へ推移した。

1. 公共事業発注状況

62年度の函館管内公共事業発注状況は、総体の発注額が802億3,600万円で前年度実績を22.0%、146億300万円上回った。

機関別にみると、函館開発建設部が425億6,900万円（前年度比30.9%増）、函館土木現業所が277億9,200万円（同12.1%増）、また、函館市では4年振りに、98億7,500万円（同18.5%増）と、それぞれ前年度実績を大きく上回った。

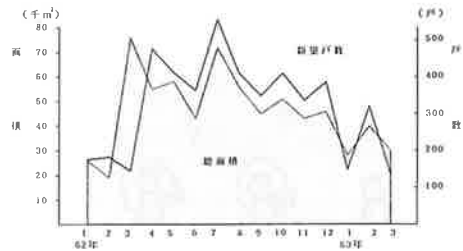
2. 建築着工状況

62年度の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が568,422㎡で、前年度に比べ20.2%の増加、うち住宅部分床面積は398,898㎡で同35.0%増加している。

また住宅総戸数は4,618戸で同22.3%増加、うち新築住宅は4,320戸で同28.7%増加したが、増改築は298戸、同28.9%減少となっている。

新築住宅の内訳は、持ち家1,808戸（前年度比52.7%増）、借家が1,802戸（同3.0%減）、その他710戸（同124.7%増）と個人住宅、マンション建築の好調を反映している。

図-1 建築着工状況



3. 個人消費

① 大型店売上高

62年度の函館市内第一種大型店売上高（ニトリ家具を除く）は、総額で892億5,926万円と前年度より6億4,083万円、0.7%の微増となった。

品目別では、主力の衣料品が361億2,268万円と前年度より2.0%増と堅調、もう一方の主力食料品は、208億9,513万円で同1.4%減と、3年連続前年度実績を下回る不調。家庭用品が90億1,276万円と同2.6%増と家電品を中心に2年連続前年度を上回り好調。家庭用品が同2.6%増、サービス同16.1%増、雑貨同14.7%減、食堂・喫茶0.7%減と品目物にばらつきがみられた。

② 新車登録台数

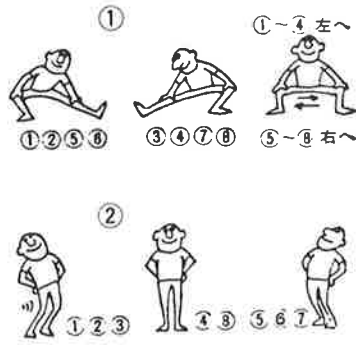
62年度の函館管内新車登録台数は、27,062台で前年度より1,209台、4.7%の増加。

車種別では、普通乗用車が16,149台で前年度より1.1%増加と2年振りに前年度実績を上回った。貨物・その他は、3,999台で同27.4%の増加と前年度（54.8%増）に引き続き好調。軽自動車は後半やや伸びにかけりがみえたが、6,914台、同2.7%増と10年連続前年度実績を上回っている。

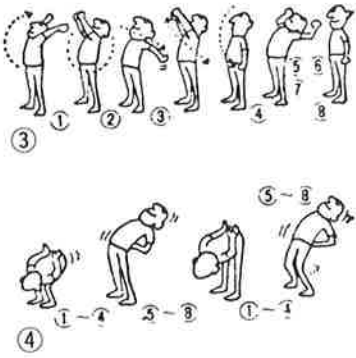
4. 雇用情勢

62年度の函館職業安定所管内の雇用情勢は月平均有効求職者数（常用）が前年度を2.1

働く人の体操（現場系）
 1 あしのばし あしを開いて伸膝、重心を上下させないで左右に移す。足を開けない人やスカートをはいている人は膝のまげのばし。（16呼間2回）
 2 腰のばし はづみをつけて腰を左右に押し出す。（8呼間4回）



3 胸はり 腕を前からまわし、斜め上から斜め後ろにおとして胸はりをす。（8呼間4回）
 4 前後まげ はじめ膝をまげて前屈そして後屈。つぎに膝をのばし前屈（16呼間2回）



5 のび上がり 膝をまげて、できるだけ小さくなり、起こして大きくのびる。（8呼間4回）
 6 自由な運動 首・手首・あし首・肩などの回旋 屈伸をする。最後に上にのびる。（8呼間4回）



（第六章） 仕事と遊びの切りかえ上手がノイローゼを防止

中小企業の経営者の場合、経営のことがいろいろと心配で精神的にかなり参っている人をみかけることがあります。確かに今日の企業競争の激しいなかで、経営者の責任は大変大きなものになっており、その重圧に耐えられないという人たちが出てくるのは当然といえるかもしれませぬ。しかし経営者はその重圧をはねかえすだけの強い精神力を要求されつつあるのもまた経営責任上あたりまえでし

よう。つまり精神がたくましくなれば、心の中にゆとりができて仕事の間でも家庭でもイライラして、周囲に嫌な思いをさせるだけでなく、あせったり、やけになったりといった情緒不安定な状態においこまれてしまいます。こんなときには、なすことやること、みんななうまくゆかないという状況になり、ますます心のゆとりを失なってしまうがちです。

そこで経営者としては1日も早く、このような圧迫感から抜け出すことが大事なのですが、そのためにはまず思い切って2、3日、温泉にでも行って、自然のなかで経営を冷静に眺め直してみ、といったことも必要でしょう。これはストレスからの逃避ではなく、ストレッチに立ち向かうために頭脳に新しい角度からの刺激を与えて活力をとり戻そうというのが狙いなのです。よく「発想の転換」という言葉が使われますが、発想の転換は心のゆとりのなかから生まれるのです。

趣味を持つことも、精神衛生上プラスになる事が多いようです。経営者は孤独なものですから、中年になってノイローゼになったりするとかわれていますが、遊びと仕事の切り換えが上手にできることが、身心の健康を維持、増進するのに大変大事なことに気がつくことが、情緒不安定状況をつくらないキメ手となるのです。

65年の伝統と信用を誇る

早川特許事務所

特許、実用新案、意匠、商標、権利侵害

所長 弁理士 早川 政 名

〒112 東京都文京区白山5-14-7 早川ビル 電話 (03) 946-0531 <代表>

発明相談 7月20日 水曜日午前10時から午後5時まで、函館商工会議所で相談をお受けいたします。相談は予約制になっていますので、商工会議所相談課（23-1181・内線63番）にお申し込み下さい。

みんなの 相談室



問

従来より使用している、軽四輪トラックが、六十三年はじめて帳簿価額十五万円となっています。これを下取りに百二十万円の新車軽四輪トラックを購入することになっていますが、下取値段と新車の値引として五十万円をみて残額七十万円を支払うことになっています。このような場合、下取値段と値引の内訳で、税務上に違いがあるでしょうか。

答

あなたの場合、下取車を売ると同時に、新車を買うことと、新車を買うことと、税務とか経費から見れば、売ることと、買うことを切り離して、それぞれ別

口の取引として扱います。

ですから、下取値段と新車値引合わせて五十万円、残額七十万円といっても、下取値段と値引の内訳によって、税務処理も経理処理も、そして節税上の損得も違ってきます。

結論から言いますと、次のようになります。

一、あなたが法人経営の場合は、下取値段を小さくし、値引を大きくするほど、当年度の課税所得は小さくなります。下取値段は、即当年度の売却損益となるのに対し、新車の値引は、減価償却費を下げることとなりますから、当年度だけを考えれば、下取値段が小さいほど、節税に有利となります。

二、あなたが個人経営の場合は、下取値段が帳簿価額の十五万円を下まわる場合と、上まわる場合で、次のような差があります。

(1)下まわる場合は、法人の場合と同じで、下取値段が小さいほど、当年度の課税所得は、小さくなります。なぜなら、車の譲渡損失が当年度の事業所得から、差し引かれることになるからです。

(2)逆に上まわる場合は、下取値段

が高いほど、節税上有効で、当年度だけでなく、来年以降の課税所得も小さくなります。

これは、車の売却損益が、個人の場合は、事業所得とは区別して譲渡所得として扱われるためです。

例えば、下取値段が三十万円、新車値引が二十万円としましょう。そうすると車の売却益が十五万円となりますが、譲渡所得は、五十万円までは、ゼロとして扱う特別控除がありますから、年五十万円までの売却益は控除されます。

ですから、あなたの場合、値引ゼロで下取値段五十万円でも、売却益三十五万円、譲渡所得はゼロとなります。

このように、下取値段が大きいと、値引が小さくなり、新車の購入値段が高くなりますから、当年度以降の減価償却費が大きくなり、長期的な節税が期待できます。

ただし、この(2)の効果が期待できるのは、他に五十万円に至る売却益の生ずるものがない場合です。また、このような効果を期待して、下取値段を勝手に操作することは、当然、認められませんので、注意が必要です。

展望台から星型の史蹟五稜郭を

披露宴・大小ご宴会承ります

- 観光のお客様から地元のお客様のご希望を満すお手伝いをモットーに!
- 展望台・史蹟館・売店・食堂・喫茶
- 駐車場完備・年中無休

 **五稜郭タワー**

☎040 函館市五稜郭町43-9 ☎(0138) 51-4785

自慢の和食専門店

カウンター・小上がりもあります!
タワー別館・花屋敷味処

積雲亭

☎54-3221

